

# 2024年度 地球温暖化対策計画書等作成マニュアル

横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局  
脱炭素計画推進課(計画書制度担当)

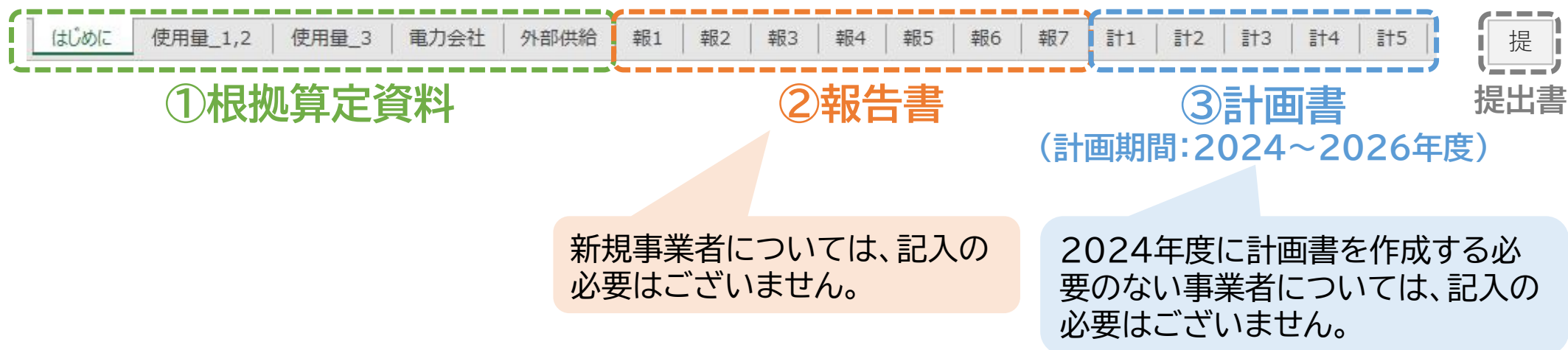
# はじめに

- このスライドでは、地球温暖化対策計画(計画書)、実施状況報告書(報告書)等の作成方法、提出方法を御紹介いたします。
  - 計画書や報告書の提出は、条例※に定められた義務です。期日(7月末)までの作成、提出をお願いいたします。
- ※:横浜市生活環境の保全等に関する条例

# 作成する書類

## ■提出様式(「2024youshiki.xlsx」)

エクセルファイルのシートの内容が主に3つに分かれています



# 手順1: 提出様式をダウンロードし、各シートへ記入

## ①根拠算定資料 を作成

排出量等の算定根拠を作成するため、事業所別にエネルギー使用状況等を記入する。

## ②報告書 を作成

根拠算定資料から反映された値・内容を確認しながら、状況・説明等を記入する。

## ③計画書 を作成(必要な事業者のみ)

根拠算定資料から反映された値・内容を確認しながら、状況・説明等を記入する。

※提出書は自動生成するため入力不要です。


報告書、計画書に  
自動で数値が反映

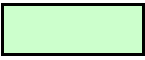
記入済みのExcelを  
横浜市電子申請・届出  
システムで提出

各様式の記入方法は次ページ以降で説明いたします。

## ■ 様式への入力ルール(セルの色分け)

 (黄色) 記入してください

 (白色) 昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定)  
セルに保護をかけているため書き換えはできません

 (緑色) 昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定)  
変更がある場合は上書き修正してください

 (灰色) 記入対象外です

## ①根拠算定資料 を作成

### ■各シートの説明

シート名	シートの概要	入力対象事業者
はじめに	事業者IDを入れ、過年度提出データを様式に表示させます	1.2号 3号
使用量_1,2	エネルギー使用量を入力して、CO2排出量を算定します	1.2号
使用量_3	車両台数の燃料使用量等を入力して、CO2排出量を算定します	3号
電力会社	小売電気事業者を検索して、排出係数を調べます（入力不要）	1.2号 3号
外部供給	<u>他者へのエネルギー供給が有る場合のみ</u> 入力が必要です	1.2号
係数	<u>燃料などの排出係数等を変更する場合のみ</u> 使用します	1.2号

# ①根拠算定資料 を作成

1.2号 3号

## ■昨年度情報の呼び出し『はじめに』シート

### <昨年度情報の呼び出し>

- ・あらかじめ割り振られた事業者IDの下3桁を入力してください。  
(入力することで、昨年度に提出頂いたデータが記入様式に反映され、入力項目が削減します。)

事業者ID下3桁

①

事業者名称

※昨年度報告の事業者名称が表示されます。

過去データ修正有無

②

デフォルトは「修正ありません」です

事業者の状況変更

③

デフォルトは「変更ありません」です

②で、「修正あり」を選ぶと、注意書きが赤文字で表示されます。

過去データ修正有無

※昨年度報告に修正がある場合には、記入を進めず、まず、市にご連絡下さい。

事業者の状況変更

③で、「変更あり」を選ぶと新名称等の入力枠が表示されます

新事業者名称

新代表者氏名

新所在地

(新しい事業者名称等を記入し、報告書作成作業を進めてください)

- ① 黄色セルに事業者ID下3桁を入力してください。
  - ・ 昨年度報告データが報告書に表示され、記載が不要なセルはグレー表示されます。
  - ・ 事業者IDは右下のリストから選択して下さい。
  - ・ 新規事業者は空欄にして下さい。
- ② 過去データの修正有無
  - ・ 修正が必要な場合「修正があります」を選択して下さい。作業を中断し市に連絡願います。
- ③ 事業者の状況変更
  - ・ 名称等に変更があれば新名称等を記入願います。

## ①根拠算定資料 を作成

1.2号

### ■基礎情報の入力 『使用量\_1,2』シート

3	1	基礎情報							
4	①	(1) 他者へのエネルギー供給(販売)が有る場合は、「無し」=	無し						
5	②	(2) エネルギーの集計対象となる横浜市内の事業所等の数を							
6		エネルギー集計対象の事業所数		2					
7		うち、原油換算エネルギー使用量が500kL以上の事業所数		2					
8	③	(3) 総括票の原単位設定							
9		<input type="radio"/> 設定無し							
10		<input type="radio"/> 設定あり(事業者全体で統一の原単位を使用する)							
11		<input type="radio"/> 設定あり(原単位の寄与度の合計から求める)							

- ① 他者へのエネルギー供給がある場合は「有り」を選んでください。
  - ・「有り」の場合は『外部供給』シートも入力してください。
- ② 事業所数は、昨年度情報が自動表示されます。変更がある場合は上書きしてください。
- ③ 原単位の設定有無を選択してください。
  - ・設定ありの場合、指標は提出済みの計画書と同じとしてください。

※次期計画を作成する場合で、指標を前計画と別のものに変更する場合は、次期計画用に新たにファイルをダウンロードしてください。



# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■エネルギー使用量の入力 『使用量\_1,2』シート

2 エネルギー使用量			横浜市 合計	原油換算500kl未満 エネルギー使用 (※複数の原単位を使用 原単位の種類別に列 ギ-使用量合計を入力してください)	原油換算500kl以上の A工場 B工場
エネルギーの種類	単位	↓自動計算			
原油(コンデンセートを除く。)	kl				
原油のうちコンデンセート(NGL)	kl				
揮発油(ガソリン)	kl				
ナフサ	kl	0			
灯油	kl	50	50		
軽油	kl	514		514	
A重油	kl	623			623
B・C重油	kl	0			
石油アスファルト	t	0			
石油コークス	t	0			
液化石油ガス(LPG)	t	12	12		
石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>	0			
可燃性 液化天然ガス(LNG)	t	0			
天然ガス	千m <sup>3</sup>	3286		1072	2214
原料炭	t	0			
一般炭	t	0			
無煙炭	t	0			
石炭コークス	t	0			
コールタール	t	0			
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>	0			
高炉ガス	千m <sup>3</sup>	0			

① 原油換算500kL以上の全事業所の名称を入力してください。  
(30行目 N列以降)

② 市内事業所のエネルギー使用量を入力してください。

原油換算500kL以上はそれぞれ入力  
原油換算500kL未満はまとめて入力

※その他燃料の排出係数等の設定は『係数』シートで行ってください。

※環境省公表のガス事業者別排出係数及び熱供給事業者別排出係数は今年度の提出では使用しません。

※排出原単位(寄与度)を設定する場合は、原単位の種類ごとにグループ化した合計値を入力してください。

**【注意】原油換算エネルギー使用量は、改正前の省エネ法施行令に準じて算出してください。非化石エネルギーは算定に含めません。**

# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■電気の使用量の入力 『使用量\_1,2』シート及び『電力会社』シート

②

③

①

5社より多い場合、『電力会社』シートに登録されていない事業者の場合は、75~110行目を再表示してください。

登録番号+メニュー	電力会社	基礎	調整後	昼間	千kWh	131	102	1215
A0064_メニュー-F(残差)	東京ガス(株)	0.000435	0.000443	夜間	千kWh	0		
A0269_メニュー-J(残差)	東京電力エナジーパートナー(株)	0.000487	0.000487	夜間	千kWh	0	263	1315
A0001_メニュー-C(残差)	F-Power	0.000472	0.000505	夜間	千kWh	540		1560
登録番号+メニュー	#N/A	#N/A	#N/A	夜間	千kWh	0		540
登録番号+メニュー	#N/A	#N/A	#N/A	夜間	千kWh	0		
小計				千kWh		4985		

- ① 『電力会社』シートで、購入先電力会社（メニューがある場合はメニュー別）を検索し、「登録番号+メニュー」をコピーしてください。
- ② ①でコピーした文字列を『使用量\_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ③ 電力会社別に電気の使用量を入力してください。

登録番号+メニューから  
コピー&ペースト

①

【小売電気事業者排出係数一覧】 2023年度

登録番号+メニュー	電気事業者名	基	排出
A0001_メニュー-A	(株) F-Power		0.00
A0001_メニュー-B	(株) F-Power		0.00
A0001_メニュー-C(残差)	(株) F-Power		0.00
A0002	イレックス(株)		0.00
A0003	リスパワー(株)		0.00
A0004_メニュー-A	エネグリーン・マーケティング(株)		0.00
A0004_メニュー-B(残差)	エネグリーン・マーケティング(株)		0.00
A0006_メニュー-A	エネグリーン・マーケティング(株)	0.000535	0.000000
A0006_メニュー-B	エネグリーン・マーケティング(株)	0.000535	0.000518
A0006_メニュー-C(残差)	エネグリーン・マーケティング(株)	0.000262	0.000401
A0007	SEウイングズ	0.000475	0.000482
A0008	(株) イーセル	0.000405	0.000000
A0009_メニュー-A	(株) エネット	0.000405	0.000000
A0009_メニュー-B	(株) エネット	0.000405	0.000200
A0009_メニュー-C	(株) エネット	0.000405	0.000220
A0009_メニュー-D	(株) エネット	0.000405	0.000300
A0009_メニュー-E	(株) エネット	0.000405	0.000349
A0009_メニュー-F	(株) エネット	0.000405	0.000370
A0009_メニュー-G	(株) エネット	0.000405	0.000408
A0009_メニュー-H(残差)	(株) エネット	0.000431	0.000000
A0011_メニュー-A	須川五郎(株)	0.000431	0.000428
A0012_メニュー-A	出興産(株)	0.000451	0.000000
A0012_メニュー-B	出興産(株)	0.000451	0.000200

検索

- (すべて選択)
- (株) afterFIT
- (株) CDエナジーダイレクト
- (株) CHIBAむつむつエナジー
- (株) CWS
- (株) F-Power
- (株) G-Power
- (株) J-POWERサプライメント

# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■外部供給量の入力 『外部供給』シート

**注意**  
このシートは、自ら生成した熱、電気等をエネルギー管理権限の異なる他人へ供給した場合のみ入力してください。  
【入力方法】  
前年度に自ら生成した「熱」または「電気」をエネルギー管理権限の異なる他人へ供給した際の当該供給量にかかる原料の量を記入してください。  
※自家発電した電気を外部に供給した場合は、「外部供給した電力量」を「発電」で使用した燃料の量に換算して各燃料の欄に入力

エネルギーの種類	単位	自動計算	横浜市内合計		原油換算500kL以上の事業所名称											
			原単位	数量	A工場	B工場	事業所名を入力3	事業所名を入力4	事業所名を入力5	事業所名を入力6	事業所名を入力7	事業所名を入力8				
原油(コンデンセートを除く。)	kL															
原油のうちコンデンセート(NGL)	kL															
揮発油(ガソリン)	kL															
ナフサ	kL															
灯油	kL															
軽油	kL															
A重油	kL															
B・C重油	kL															
石油アスファルト	t															
石油コークス	t															
石油ガス	千m <sup>3</sup>															
液化石油ガス(LPG)	千m <sup>3</sup>															
石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>															
可燃性	t															
天然ガス	千m <sup>3</sup>															
その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>															
原料炭	t															
一般炭	t															
無煙炭	t															
石炭コークス	t															
コールタール	t															

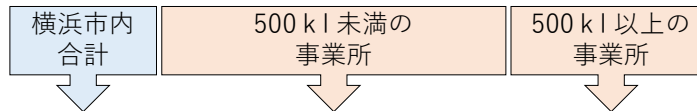
『外部供給』シートは、他者へのエネルギー供給が「有り」の場合のみ入力が必要です。

入力は『使用量\_1.2』シートと同様に  
原油換算500kL以上はそれぞれ  
原油換算500kL未満はまとめて  
入力してください。

# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■原単位(事業者全体で統一の原単位を使用する)の入力 『使用量\_1,2』シート



排出原単位(統一)を設定する場合のみ入力してください。

原油換算エネルギー使用量(kL)		2,583	1,949	0	0	634
二酸化炭素排出量(tCO2)	基礎	4660	3,517	0	0	1,143
	調整後	4,660	3,517	0	0	1,143
排出量原単位の指標	① 名称	生産数	生産数			生産数
	量	1	② 150			10
	単位(★)	t	t			t
排出量原単位(tCO2/★)	基礎(A)	③ 29.13	23.4467			114.3

- ① 黄色セルに排出原単位の「名称」、「単位」を入力してください。CO2排出量と密接な関係がある量を選んでください。
- ② 緑色セルに①の入力内容が反映されます。黄色セルに排出原単位の「量」を入力してください。(例では150, 10)
- ③ 全体の排出原単位が自動計算されます。(例では29.13)

# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■原単位(原単位の寄与度の合計から求める)の入力 『使用量\_1,2』シート

		横浜市内 合計	500 k l 未満の 事業所		500 k l 以上の 事業所	
原油換算エネルギー使用量(kL)		2,583	1,186	763	0	634
① 二酸化炭素排出量(tCO2)	基礎	4661	2,146	1,372	0	1,143
	調整後	4,661	2,146	1,372	0	1,143
排出量原単位の指標	名称		生産数	従業員数		延べ床面積
	量		150	100		500
	単位(★)		t	人		m <sup>2</sup>
排出量原単位(tCO2/★)	基礎(A)		14.3067	13.72		2.286
② 寄与度の合計から求めた原単位を使用して報告書を作成する場合						
基準(2021)年度原単位(tCO2/★)	基礎(B)	10	14	15		3
基礎排出量構成比	(R)	100.0%	46.0%	29.4%		24.5%
実施年度削減率 (C=(1-A/B)×100)[%]	(C)		-2%	9%		24%
実施年度削減率(構成比重みづけ) (Σ(R×C)×100)[%]	寄与度の合計の場合	7.34	-1%	3%		6%

排出原単位(寄与度)を設定する場合のみ入力してください。

① 黄色セルに排出原単位の「名称」、「量」、「単位」を入力してください。

② 黄色セルに基準年度の寄与度の算定に用いた排出原単位を入力してください。  
(例では、14, 15, 3)

③ 構成比で重みづけされた実施年度削減率が自動計算されます。  
(例では7.34)

# ①根拠算定資料 を作成

3号

## ■原単位設定の選択と車両台数の入力 『使用量\_3』シート

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following content:

- Sheet name: 二酸化炭素排出量算定表(3号用) 車両台数及びエネルギー使用量入力表
- Section 1: 基礎情報 (Basic Information)
  - (1) 総括票での原単位設定 (Unit setting in summary sheet)
    - 設定無し (No setting)
    - 設定あり (Setting)
- Section 2: 横浜市内における2022年度の車両台数 (Vehicle count in Yokohama City for 2022)

2021年度		2022年度			
年度末所有車両 111 台	新規台数 10 台	a 継続台数 106 台	走行あり① 106 台	走行なし 0 台	年度末所有車両 114 台
		b 減車台数 5 台	走行あり② 5 台	走行なし 0 台	
		c 継続台数 8 台	走行あり③ 8 台	走行なし 0 台	走行台数 120 台
		d 減車台数 2 台	走行あり④ 1 台	走行なし 1 台	(①+②+③+④)

① 原単位の設定有無を選択してください。

・設定ありの場合は、すでに提出している計画書と同じ指標としてください。

※次期計画を作成する場合で、指標を前計画と別のものに変更する場合は、次期計画用に新たにファイルをダウンロードしてください。

② 「年度末所有車両」台数は、昨年度情報が自動表示されます。黄色セルに増減台数、走行台数をそれぞれ入力してください。

# ①根拠算定資料 を作成

## ■エネルギー使用量の入力 『使用量\_3』シート

### 3 2023年度に走行した車両の走行距離

① 意: 2023年度中に減車(廃止)した車両(走行あり)を含みます。

燃料の種類	走行台数 (台/年)	走行距離 (km/年) (a)	燃料補給量 ( /年) (b)		燃費 (km/ ) (a÷b)	
ガソリン	500	11,100,000	2,500,000	L	4.4400 km/L	
軽油	500	10,000,000	2,500,000	L	4.0000 km/L	
天然ガス	85	1,500,000	150,000	m <sup>3</sup>	10.0000 km/m <sup>3</sup>	
LPG	310	5,000,000	1,000,000	L	5.0000 km/L	
水素						
電気	登録番号+メニュー #N/A	基礎 #N/A	調整後 #N/A	昼間	kWh	
				夜間	kWh	
	登録番号+メニュー #N/A	基礎 #N/A	調整後 #N/A	昼間	kWh	
				夜間	kWh	
	登録番号+メニュー #N/A	基礎 #N/A	調整後 #N/A	昼間	kWh	
				夜間	kWh	
	登録番号+メニュー #N/A	基礎 #N/A	調整後 #N/A	昼間	kWh	
				夜間	kWh	
	登録番号+メニュー #N/A	基礎 #N/A	調整後 #N/A	昼間	kWh	
				夜間	kWh	
	<b>合計</b>					
	走行台数(検算用)		1,395	27,600,000		

注: C列(登録番号+メニュー)は『電力会社』シートより購入先電力会社の「登録番号+メニュー」をコピー&ペーストして下さい。

一検算用の値と走行台数の合計値が一致

① 2023年度に走行した車両の「走行台数」、「走行距離」、「燃料補給量」を燃料の種類ごとに**まとめて**入力してください。  
 ※昨年度から入力方法が変更されました。

**【単位に注意してください!】**

燃料の種類	単位
ガソリン	L
軽油	L
天然ガス	m <sup>3</sup>
LPG	L

# ①根拠算定資料 を作成

## ■電気の使用量の入力 『使用量\_3』シート及び『電力会社』シート

3 2023年度に走行した車両の走行距離

注意: 2023年度中に減車(廃止)した車両(走行あり)をみます。

燃料の種類	走行台数 (台/年)	走行距離 (km/年) (a)	燃料補給量 ( /年) (b)		燃費 (km/) (a+b)
			L	m	
ガソリン	500	11,100,000	2,500,000	L	4.4400 km/L
軽油	500	10,000,000	2,500,000	L	4.0000 km/L
ガス	85	1,500,000	150,000	m	10.0000 km/m
電気	310	5,000,000	1,000,000	L	5.0000 km/L
計	1,395	27,600,000			

② C別(登録番号+メニュー)の『電力会社』シートより購入電力会社の「登録番号+メニュー」をコピー&ペーストして下さい

登録番号+メニュー	基礎	調整後	昼間	夜間	kW	km/Wh
登録番号+メニュー	基礎	調整後	昼間	夜間	kW	km/Wh
登録番号+メニュー	基礎	調整後	昼間	夜間	kW	km/Wh
登録番号+メニュー	基礎	調整後	昼間	夜間	kW	km/Wh
登録番号+メニュー	基礎	調整後	昼間	夜間	kW	km/Wh

登録番号+メニュー

①

登録番号+メニューから  
コピー&ペースト

- ① 『電力会社』シートで、購入先電力会社(メニューがある場合はメニュー別)の「登録番号+メニュー」を検索してコピーしてください。
- ② ①でコピーした文字列を『使用量\_3』シート中の「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ③ 電力会社ごとに走行台数、走行距離、電気の使用量を入力してください。



# ①根拠算定資料 を作成

3号

## ■原単位の入力 『使用量\_3』シート

4 2022年度の二酸化炭素排出量等

	二酸化炭素排出の 合計量 (tCO2)		排出原単位の指標		排出原単位の指標		排出量原単位 (tCO2/★)
	基礎	調整後	走行距離		※走行距離以外の原単位指標を 使用する場合は右欄に入力↓		基礎
			量	単位★	量	単位★	
横浜市内	14264.5	14,265	27,600	千km			0.5168

①

②

③

① 入力した燃料の使用量から二酸化炭素排出の合計量及び「走行距離」を指標とした排出原単位が自動計算されます。

② 「走行距離」以外の指標を排出原単位として設定する場合は、黄色セルに「名称」、「量」、「単位」を入力してください。

③ 排出原単位が自動計算されます。

## ②報告書 を作成

### ■各シートの説明

シート名	項目	記入要領
報1	1 事業者概要 2 計画期間 3 公表方法	•提出日を記入 •事業者概要等は、変更がある場合上書き
報2	4 排出の抑制に係る目標等	•目標の達成状況を記入
報3	5 クレジットの取組状況 6 再エネ利用設備の稼働状況 7 次世代自動車の導入状況	•クレジット及び再エネ利用設備の状況を記入（導入がなければ記入不要） •次世代自動車の導入台数（＝増減数）及び保有台数を記入。増減がない場合は「0（ゼロ）」を記入
報4	8 重点対策	•各対策の管理基準等の設定状況、実施状況をそれぞれ選択
報5	9 自主的な対策	•設備更新、運用改善、低炭素電気への切替え等の対策による削減量を記入（導入がなければ記入不要）
報6	10 その他取組 11 特記事項	•廃棄物削減の取組や環境教育等の取組状況を記入（取組がなければ記入不要）
報7	1 事業所概要 2 排出の抑制に係る目標等	•事業所の概要、目標の達成状況を記入 ※目標値はすでに提出した計画書を参照

## ②報告書 を作成

1.2号 3号

### 『報1』シート

Excel spreadsheet showing a form for reporting climate action implementation status. The form includes fields for business ID, date, address, and business details. A table at the bottom lists business information like name, address, and industry type.

事業者ID	1398233
年月日	
住所	神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地の10
氏名	横浜市 市長 山中 竹春
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)	
横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり提出します。	
1 地球温暖化対策事業者等の概要	
事業者の名称	横浜市
及び代表者の氏名	市長 山中 竹春
主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地の10
主たる事業の業種	大分類 S 公務（他に分類されるものを除く）
	中分類 98 地方公務
<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第1号該当事業者	

• 黄色セル を記入してください。

• 緑色セル は昨年度情報を自動表示しています。

『はじめに』シートで入力した事業者IDに応じ、昨年度情報を自動表示しています。変更がある場合は、上書き修正してください。

ただし、提出者情報は、地球温暖化対策事業者等の概要欄の昨年度情報を自動表示しています。

## ②報告書 を作成

1.2号 3号

### ■『報2』シート 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等

細則第38号様式（第2条第49号）  
（地産票）

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2021年度)	特定温室効果ガス排出量		削減率	原単位		
	基礎	調整後		基礎	調整後	
	2,025 t-CO <sub>2</sub>	2,427 t-CO <sub>2</sub>		11.89 t-CO <sub>2</sub> /千t		
目標年度 (2024年度)	2,025 t-CO <sub>2</sub>	2,427 t-CO <sub>2</sub>	0.0 %	11.53 t-CO <sub>2</sub> /千t	3.0 %	
前一年度 (2022年度)	1,838 t-CO <sub>2</sub>	2,083 t-CO <sub>2</sub>	9.2 %	10.70 t-CO <sub>2</sub> /千t	10.0 %	
第 二 年 度 (2023年度)	1,337 t-CO <sub>2</sub>	2,139 t-CO <sub>2</sub>	34.0 %	7.43 t-CO <sub>2</sub> /千t	37.5 %	
第 三 年 度 (2024年度)	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /千t	%	
目標の進捗及び達成状況の説明 (2023年度)	達成状況	<input type="radio"/> 目標を達成できた <input type="radio"/> おおむね目標通り <input type="radio"/> 目標を達成できなかった				
	要因	省エネ取組	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
		事業活動量	<input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> ほぼ変動無し <input type="radio"/> 減			
		自由記述欄				

●黄色セル を記入してください。

1,2号該当事業者は4の1に、3号該当事業者は4の2に目標の達成状況等を記入してください。

●白色セル は自動表示のため記入不要です。

青枠内：過年度の報告データが自動表示されます

赤枠内（4の1）：『使用量\_1,2』シートで算定した2023年度排出量データが自動表示されます

緑枠内（4の2）：『使用量\_3』シートで算定した2023年度の排出量データが自動表示されます

4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2021年度)	特定温室効果ガス排出量		削減率	原単位		
	基礎	調整後		基礎	調整後	
	1,876 t-CO <sub>2</sub>	1,876 t-CO <sub>2</sub>		15.53 t-CO <sub>2</sub> /千t		
目標年度 (2024年度)	1,876 t-CO <sub>2</sub>	1,876 t-CO <sub>2</sub>	0.0 %	15.06 t-CO <sub>2</sub> /千t	3.0 %	
前一年度 (2022年度)	1,064 t-CO <sub>2</sub>	1,064 t-CO <sub>2</sub>	32.5 %	16.44 t-CO <sub>2</sub> /千t	▲5.9 %	
第 二 年 度 (2023年度)	1,600 t-CO <sub>2</sub>	1,600 t-CO <sub>2</sub>	▲1.5 %	22.85 t-CO <sub>2</sub> /千t	▲47.2 %	
第 三 年 度 (2024年度)	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /千t	%	
目標の進捗及び達成状況の説明 (2023年度)	達成状況	<input type="radio"/> 目標を達成できた <input type="radio"/> おおむね目標通り <input type="radio"/> 目標を達成できなかった				
	要因	省エネ取組	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
		事業活動量	<input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> ほぼ変動無し <input type="radio"/> 減			
		自由記述欄				

『報3』～『報6』シートの記入にあたっては、横浜市HPに掲載している記入例を参照してください。

■記入例URL：

[https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r6\\_application\\_guide.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r6_application_guide.html)

## ②報告書 を作成

1.2号 3号

### ■『報3』シート

5 クレジットに関する取組状況					
番号	クレジットの名称	特定温室効果ガス削減相当量 (t-CO <sub>2</sub> )	オフセット対象範囲		
1					
2					
3					
4					
5					

6 再生可能エネルギー利用促進の取組状況					
番号	設備機器の種類	導入年度	設備機器の性能	発電等の実績	単位
1		年度			
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

7 次世代自動車の導入状況				
次世代自動車の種別	電気自動車	プラグインハイブリッド車	燃料電池自動車	合計
導入台数【台】	0	0	0	0
保有台数【台】	0	0	0	0

- 黄色セル を記入してください。
- 白色セル は自動表示のため記入不要です。

電気の非化石証書による「特定温室効果ガス削減相当量」は、以下の計算式により計算してください。

電気の非化石証書による「特定温室効果ガス削減相当量」  
 = 非化石証書の量(kWh) × 全国平均係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh) × 補正率

全国平均係数(t-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.000438
FIT補正率	1.02
非FIT補正率	1.02

ただし、電気の非化石証書による「特定温室効果ガス削減相当量」は、電気の使用に伴う排出量（提出様式ファイルの使用量1,2シートのJ112セルの値）が上限です。

『報3』～『報6』シートの記入にあたっては、横浜市HPに掲載している記入例を参照してください。

■ 記入例URL：

[https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r6\\_application\\_guide.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r6_application_guide.html)

## ②報告書 を作成

1.2号

### 『報7』シート 個別票

個別票は、原油換算エネルギー使用量が500kL以上の事業所の数作成してください。

- **黄色セル** を記入してください。  
『使用量\_1,2』シートの入力情報から、作成が必要な事業所の分、記入欄がアクティブになります。
- **緑色セル**は『使用量\_1,2』シートのデータを自動表示しています  
変更がある場合は上書き修正してください。
- **白色セル** は自動表示のため記入不要です。

※個別票は**縦**に配列しており、最大40事業所分の記載が可能です。

### ③計画書を作成

(第3年度事業者、新規事業者のみ)

## ■計画書シート構成

シート名	項目	記入要領
計1	1 事業者概要 2 計画期間 3 排出抑制の基本方針	•排出抑制の基本方針を記入 ※報告書と同一の情報は反映済み • <u>計画期間(2024~2026年度)をあらかじめ入力済み</u>
計2	4 公表方法 5 排出の抑制に係る目標等	•目標の設定状況を記入 ※報告書と同一の情報は反映済み
計3	6 クレジットの取組状況 7 設備等の新設・更新計画 8 次世代自動車の導入状況・計画	•クレジット、設備更新、次世代自動車について、導入計画を記入(計画期間中の予定がない場合は「無」を選択) •次世代自動車については、3月31日時点の保有台数を記入 <u>(未保有の場合も、「0(ゼロ)」を記入)</u>
計4	9 重点対策	•各対策の管理基準等の設定状況、実施状況をそれぞれ選択
計5	1 事業所概要 2 排出の抑制に係る目標等	•事業所の概要、目標の達成状況を記入 ※目標設定の記入については、原油換算エネルギー使用量1,500kL以上の事業所は必須、それ以外は任意

### ③計画書 を作成

1.2号 3号

(第3年度事業者、新規事業者のみ)

### 『計1』シート

事業ID	1898233
提出先	横浜市
住所	神奈川県横浜市中央区本町6丁目50番地の10
氏名	横浜市 市長 山中 竹春
主たる事業の業種	大分類 S 公務 (他に分類されるものを除く) 中分類 98 地方公務
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第1号該当事業者 <input type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第2号該当事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第3号該当事業者

事業ID	
提出先	横浜市
住所	
氏名	
主たる事業の業種	大分類 A 農業、林業 中分類 01 農業
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第1号該当事業者 <input type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第2号該当事業者 <input type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第3号該当事業者 <input type="checkbox"/> 条例第144条の4該当事業者 (任意提出事業者)

黄色セル を記入してください。

緑色セル は必要に応じて上書き修正してください。

報告書の入力内容を自動で反映しています。

【報告書の提出がある事業者】

【新規事業者】

『計2』～『計5』シートの記入にあたっては、横浜市HPに掲載している記入例を参照してください。

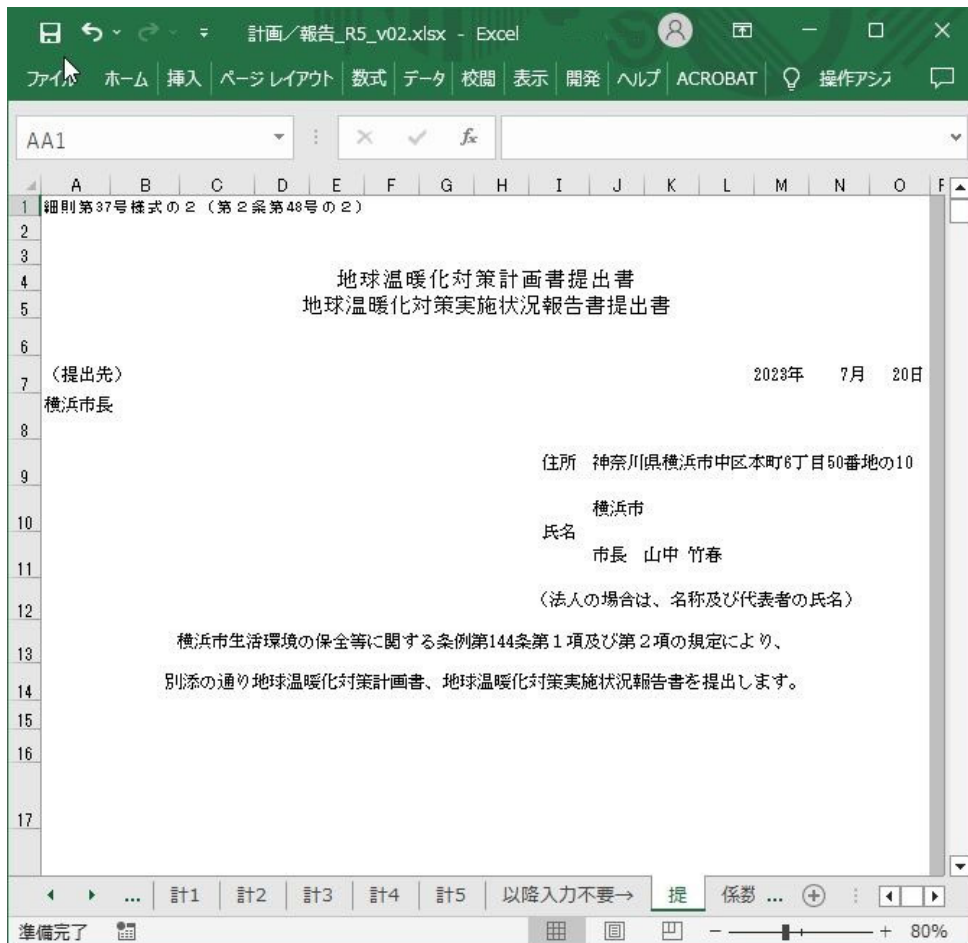
■ 記入例URL : [https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r6\\_application\\_guide.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r6_application_guide.html)



# 提出書

1.2号 3号

## 『提』シート



報告書等に記載いただいた情報から自動作成いたしますので、記入の必要はありません。

※2023年度から提出書の様式を変更しました。

# 係数

1.2号

## 『係数』シート

2024youshiki\_ver05b\_0131.xlsx - Excel

野呂 正司

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ Acrobat 共有

C32 原油 (コンデンセートを除く。)

1 排出係数の設定

2

3 1 基礎情報 ※標準の設定から変更する場合

4

5 (1) 排出係数と、電気の発熱量の設定(標準の設定から変更する場合)

6

エネルギーの種類	単位発熱量			CO2排出係数				
	単位	分母単位	単位	基礎	調整後	単位		
燃料	原油(コンデンセートを除く。)	38.2	GJ/kL	kL	0.0187	0.0187	t/GJ	
	原油のうちコンデンセート (NGL)	35.3	GJ/kL	kL	0.0184	0.0184	t/GJ	
	揮発油(ガソリン)	34.6	GJ/kL	kL	0.0183	0.0183	t/GJ	
	ナフサ	33.6	GJ/kL	kL	0.0182	0.0182	t/GJ	
	灯油	36.7	GJ/kL	kL	0.0185	0.0185	t/GJ	
	軽油	37.7	GJ/kL	kL	0.0187	0.0187	t/GJ	
	A重油	39.1	GJ/kL	kL	0.0189	0.0189	t/GJ	
	B・C重油	41.9	GJ/kL	kL	0.0195	0.0195	t/GJ	
	石油アスファルト	40.9	GJ/t	t	0.0208	0.0208	t/GJ	
	石油コークス	29.9	GJ/t	t	0.0254	0.0254	t/GJ	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	50.8	GJ/t	t	0.0161	0.0161	t/GJ
		石油系炭化水素ガス	44.9	GJ/千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	0.0142	0.0142	t/GJ
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	54.6	GJ/t	t	0.0135	0.0135	t/GJ
		その他可燃性天然ガス	43.5	GJ/千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	0.0139	0.0139	t/GJ
石炭	原料炭	29.0	GJ/t	t	0.0245	0.0245	t/GJ	
	一般炭	25.7	GJ/t	t	0.0247	0.0247	t/GJ	
	無煙炭	26.9	GJ/t	t	0.0255	0.0255	t/GJ	

報6 報7 計1 計2 計3 計4 計5 以降入力不要→ 係数

準備完了

燃料などの排出係数等を変更する場合や電気の発熱量を標準設定から変更する場合のみ、  
使用します

## 手順2:作成したデータ等を電子申請システムで提出

■作成したデータ等を、横浜市電子申請・届出システムで提出してください。

### 【提出先】

横浜市電子申請・届出システム

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/0e146d97-69e1-4fa8-874a-949c30cb8462/start>



※電子申請システムで提出できない場合は個別にご相談ください。

連絡先: 横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素計画推進課 計画書制度担当

電話番号:045-671-4224

電子メール:da-keikakusho@city.yokohama.lg.jp

副本が必要な方は、紙媒体を窓口へ持参もしくは郵送(所定額の切手を貼った返信用封筒を同封)してください。

# 間違いやすいポイント

## 使用量1.2シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I		
3		1 基礎情報									
7		(1) 他者へのエネルギー供給(販売)が有る場合は、「無し」=									
8		<input type="radio"/> 無し									
17		(2) エネルギーの集計対象となる横浜市内の事業所等の数を									
18		エネルギー集計対象の事業所数							<input type="radio"/> 2		
19		うち、原油換算エネルギー使用量が500kI以上の事業所数							<input type="radio"/> 2		
20		(3) 総括票の原単位設定									
21		<input type="radio"/> 設定無し									
22		<input type="radio"/> 設定あり(事業者全体で統一の原単位を使用する)									
23		<input type="radio"/> 設定あり(原単位の寄与度の合計から求める)									
24		<input type="radio"/> 設定あり(個別表のみ原単位を使用する)									
25											

## 使用量3シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1		二酸化炭素排出量算定表(3号用) 車両								
28										
29		1 基礎情報								
31		(1) 総括票での原単位設定								
32		<input type="radio"/> 設定無し								
33		<input type="radio"/> 設定あり								
36										

排出量原単位の設定についてのオプションボタンが選択されていないことが多々あります。それに伴って計画作成時に設定をした排出量原単位が設定されていない場合が多く見受けられました。(計画時に設定をしていない場合でも「設定無し」を選択してください)

# 間違いやすいポイント

使用量1.2シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
64			C列（登録番号+メニュー）は『電力会社』シートより購入先電力会社の「登録番号+メニュー」をコピー&ペーストして下さい。 一般的な契約プランの場合はメニューの後に「残差」とつく電力メニューを選択してください。							
65			登録番号+メニュー	#N/A	基礎	調整後	昼間	千kWh	0	
66					#N/A	#N/A	夜間	千kWh	0	
67			登録番号+メニュー	#N/A	基礎	調整後	昼間	千kWh	0	
68					#N/A	#N/A	夜間	千kWh	0	
69			登録番号+メニュー	#N/A	基礎	調整後	昼間	千kWh	0	
70					#N/A	#N/A	夜間	千kWh	0	
71			登録番号+メニュー	#N/A	基礎	調整後	昼間	千kWh	0	
72					#N/A	#N/A	夜間	千kWh	0	
73			登録番号+メニュー	#N/A	基礎	調整後	昼間	千kWh	0	
74					#N/A	#N/A	夜間	千kWh	0	

同じ電力会社でも電力メニューは多岐にわたります。一般的な契約プランの場合はメニューの後に**残差**とつく電力メニューを選択してください。

CO2の排出が0の電気メニュー（調整後排出係数が0の電気メニュー）を選択している場合が多くありました。

# 間違いやすいポイント

『報1』シート

『計1』シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	細則第38号様式（第2条第49号）														
2	(総括票)										事業者ID				
3	地球温暖化対策実施状況報告書														
4															
5								年 月 日							
6	(提出先)														
7	横浜市長														
8															
9															
10															
11															

住所

氏名

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

提出日の設定が入力されていないことが多くありました。  
電子申請システムで提出する日付を入力してください。

# 間違いやすいポイント

## 『報2』シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
16			達成状況		<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できた		<input type="radio"/> おおむね目標通り			<input type="radio"/> 目標を達成できなかった		
17	目標の進捗及び 達成状況の説明 (2023年度)		要因	省エネ取組			<input checked="" type="radio"/> あり			<input type="radio"/> なし		
18				事業活動量	<input type="radio"/> 増		<input checked="" type="radio"/> ほぼ変動無し			<input type="radio"/> 減		
19				自由記述欄								

「達成状況」及び「要因」について、該当する項目を選択してください。

# 間違えやすいポイント

## 『報3』シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	F
21	7 次世代自動車の導入状況															
22	次世代自動車の種別			電気自動車			プラグイン ハイブリッド車			燃料電池自動車			合計			
23	導入台数[台]			0			0			0			0			
24	保有台数[台]			0			0			0			0			
25																

次世代自動車の「導入台数」が0だとしても0の記入をお願いします。  
また、「導入台数」は、正味の導入台数で  
 $(\text{導入台数}) = \{(\text{新規台数}) + (\text{転入台数})\} - \{(\text{廃止台数}) + (\text{転出台数})\}$   
を記入してください。



# 間違えやすいポイント

## 『報7』シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P												
13	2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況																											
14			特定温室効果ガス排出量（基礎）					原単位																				
15	実施年度		1,778			t-CO <sub>2</sub>							t-CO <sub>2</sub> /															
16	(2023年度)																											
17			目標の進捗及び達成状況の説明 (2023年度)																									
18																												
19																												
20																												
21																												

原油換算エネルギー使用量が1500kl未満で、計画書で目標設定をした場合は、次の「記入する」を選んでください。

グループ 13

記入する

記入しない

2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況について  
原単位の記入欄、目標の進捗及び達成状況の説明の記入欄については、**計画作成時に目標を設定していない場合は記入ができません。**